

記事を読んで、問いに答えなさい。

2022年3月16日朝刊

天浜線 地域と歩み35年

記念ヘッドマークやイベントでPR



「沿線に還元」

第三セクターの天竜浜名湖鉄道の天竜浜名湖線（浜松市天竜区）は15日、営業開始から35年を迎えた。前身の旧国鉄「俣線」から路線を引き継ぎ、地域に還元する取り組みを進めている。記念ヘッドマーク車両の運行を皮切りに、今後は記念商品やイベントなどを通して沿線の風光明媚な景色やレトロな施設が観光客を集めている。近年では相次いで人気アニメのモデル地にもなり、全国からファンが訪れる。同日から装着された2種類のヘッドマークのデザインは社員が考案。「35th」の文字をモチーフにした。松井社長は「地域に還元してきた35年。今後は天浜線が地域の活性化の旗振り役になれるよう、沿線に還元できる取り組みに力を入れていきたい」と話した。

①天竜浜名湖鉄道の会社の特徴である第三セクターとは、どのような運営方式か。次の語句を必ず使って説明しなさい。 < 静岡県、資金 >

②現在の天竜浜名湖鉄道の前身となる路線とは、どこか。記事中から抜き出して答えなさい。（ ）

③近年全国から天浜線にファンが集まっている。その理由を、記事を参考にしながら説明しなさい。

年 組 名前



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

記事を読んで、問いに答えなさい。

解答例

2022年3月16日朝刊

天浜線 地域と歩み35年

記念ヘッドマークやイベントでPR



「沿線に還元」

第三セクターの天竜浜名湖鉄道の両輪を自指した営業を続けている。記念ヘッドマーク車両の運行を皮切りに、今後は記念商品やイベントなどを通して沿線の風光明媚（ふうこうめいめい）な景色やレトロな施設が観光客を集めている。近年では相次いで人気アニメのモデル地にもなり、全国からファンが訪れる。

同日から装着された2種類のヘッドマークのデザインは社員が考案。「35th」の文字をモチーフにした。松井社長は「地域に還元されてきた35年。今後は天浜線が地域の活性化の旗振り役になれるよう、沿線に還元できる取り組みに力を入れていきたい」と話した。

同鉄道は、1940年に全線開通した旧二俣線（掛川―新所原）の廃線に伴い、87年3月15日に天竜浜名湖線の営業を開始した。地域の通勤・通学者に加え、沿線の風光明媚（ふうこうめいめい）な景色やレトロな施設が観光客を集めている。近年では相次いで人気アニメのモデル地にもなり、全国からファンが訪れる。

同日から装着された2種類のヘッドマークのデザインは社員が考案。「35th」の文字をモチーフにした。松井社長は「地域に還元されてきた35年。今後は天浜線が地域の活性化の旗振り役になれるよう、沿線に還元できる取り組みに力を入れていきたい」と話した。

①天竜浜名湖鉄道の会社の特徴である第三セクターとは、どのような運営方式か。次の語句を必ず使って説明しなさい。 < 静岡県、資金 >

（例）静岡県や天竜浜名湖鉄道の沿線自治体、民間企業がそれぞれ資金を出し合って運営している方式。

②現在の天竜浜名湖鉄道の前身となる路線とは、どこか。記事中から抜き出して答えなさい。

（例）旧国鉄二俣線

③近年全国から天浜線にファンが集まっている。その理由を、記事を参考にしながら説明しなさい。

（例）天浜線の駅が人気アニメのモデル地になり、アニメツーリズムの活用が進んでいるため。

年 組 名前

作問者：NIEアドバイザー 伊藤大介（静岡聖光学院中学・高校 教諭）

（中学校～高校／社会、総合）